



熊本市立 大江小学校

ときめき

2024.5.31 (金)

No. 34

文責
松永

国語「はたらく人に話を聞こう」の学習より 二年生

2年生国語の「はたらく人に話を聞こう」の授業で、3人の先生に話を聴くという時間がありました。3人の先生とは、保健室の佐藤先生、給食室の中村先生、図書室の長濱先生です。この時間はクラスごとではなく、クラスの枠をはずして、自分が話を聴きたい先生がいらっしゃる教室に行くようになっていました。そこで、それぞれが事前に準備していた聴いてみたいことを質問する形で授業が展開されていました。



保健室 佐藤 久美 先生

いろいろな質問が準備されていてびっくりしたそうです。「一日にどれ位の人が保健室に来ますか？」と尋ねられたので、「多い時は30人ほど来ますよ。少ない時はほんの何人です



けどね」と答えたとのことでした。みんなが一生懸命に話を聴いていたのが印象的で、中には少し照れた人もいたけど、それでもしっかり聴こうとしていたのでほんわかした雰囲気になってよかったです！



給食室 中村 雅子 先生



「給食を作るのは楽しいですか？」と聞かれたので、「楽しいです」と…。「どんな気持ちで給食を作っているのですか？」の質問に対しては「みんなが喜んで食べてもらえるよ



うに、おいしくなあれ！の気持ちをいっぱいこめて作っていると答えたそうです。2年生の子どもたちの学習をやってみて、聞こうという気持ちが伝わってきてがんばっているなど嬉しくなりました。



図書室 長濱 愛 先生



「どんな気持ちで仕事をしていきますか？」の問いに、「いい本をたくさん読んでほしい」と答えたそうです。また、「仕事をしていて楽しいことは？」と聞かれたので、「みんなが楽し



い、おもしろいと言ってくれることです」と返答したとのことでした。話したことを真剣に聞き、しっかりメモしようとする姿に感心したそうで、メモが取りやすいように簡潔に話をするようにされたそうです。



「聴く力」「話す力」を高めるために…

「聴く」ことも「話す」ことも、学習の理解を深める上でも相手とのコミュニケーションをとる上でも大切なことです。話すことが苦手という子どもも多いのですが、友達が自分の話を聞きながら、うなずいたり返事をしたりと反応を示してくれることが、話を温かく聴いてくれるという安心感につながり、話す力を高めることにもつながると思います。